

イモリ



しんぶん

Vol. 67

冗談です

発行日：2023年 3月 7日

発行：朝日塾中等教育学校 理科

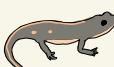
イモリを飼うということ

この新聞はイモリしんぶんという名前なのでイモリのことを中心に書きますが、今回の内容は動物を飼うこと一般の話です。

おうちで生き物を飼う時に、どんなことを考えないといけないと思いますか？エサはどうする？家に飼うスペースはある？近くに動物病院ってあるの？・・・など、いろんなことを考えると思います。

生き物を飼う前に必ず考えなくてはならないことは、その生き物の一生に責任が持てるか？ということです。自分が飼育することで、苦痛を与えることはないか、その生き物が死ぬ最後まで飼育する余裕はあるか、ということを常に考える必要があります。少しでも難しいな、と思ったら、生き物を飼うべきではないです。

ア、アタシのこと好きって…
一生大事にするって
言いたいじゃん!!!



アナタに拾てられたら、
私、これからどうやって
生きていらいいの……。



生きものを拾ててはいけません！

飼育する上で考えてほしいこと

- ①十分な飼育スペースを確保できますか？
- ②毎日お世話をできますか？
- ③身近なお店でエサを用意できますか？
- ④その生き物を診てくれる動物病院はありますか？
- ⑤エサ代治療費等、お金は用意できますか？
- ⑥その生き物が寿命を迎えるまでに、自分の寿命は尽きませんか？

などなど、いろいろ考えてほしいことがあります。しかし、上記にあることは生物種によって条件が違うので気を付けてください。

イモリを例にすると、飼育スペースはそんなに広くなくても良いし、成体であればお世話も大した手間はかかりません。しかし、イモリを診てくれる動物病院はほとんどないし、幼体から育てるなら餌の確保は難しいかもしれません。また、アカハライモリの寿命は、飼育下では20年以上生きることもあり、自分の寿命とも相談する必要があるかもしれません。

飼育される生き物は、飼育先を選ぶことはできません。その生き物がより良く一生を終えられるように、飼育する側の人間は生き物に対しての責任を持ちましょう。

ちなみにな……
ヨウムは50年以上生きることもある



ヨウム相続問題が
発生することも……



次回 あなたの毒はどこから？